

# 歯科医院の

# トリセツ

笠間慎太郎 / 著



通院編

医歯薬出版株式会社

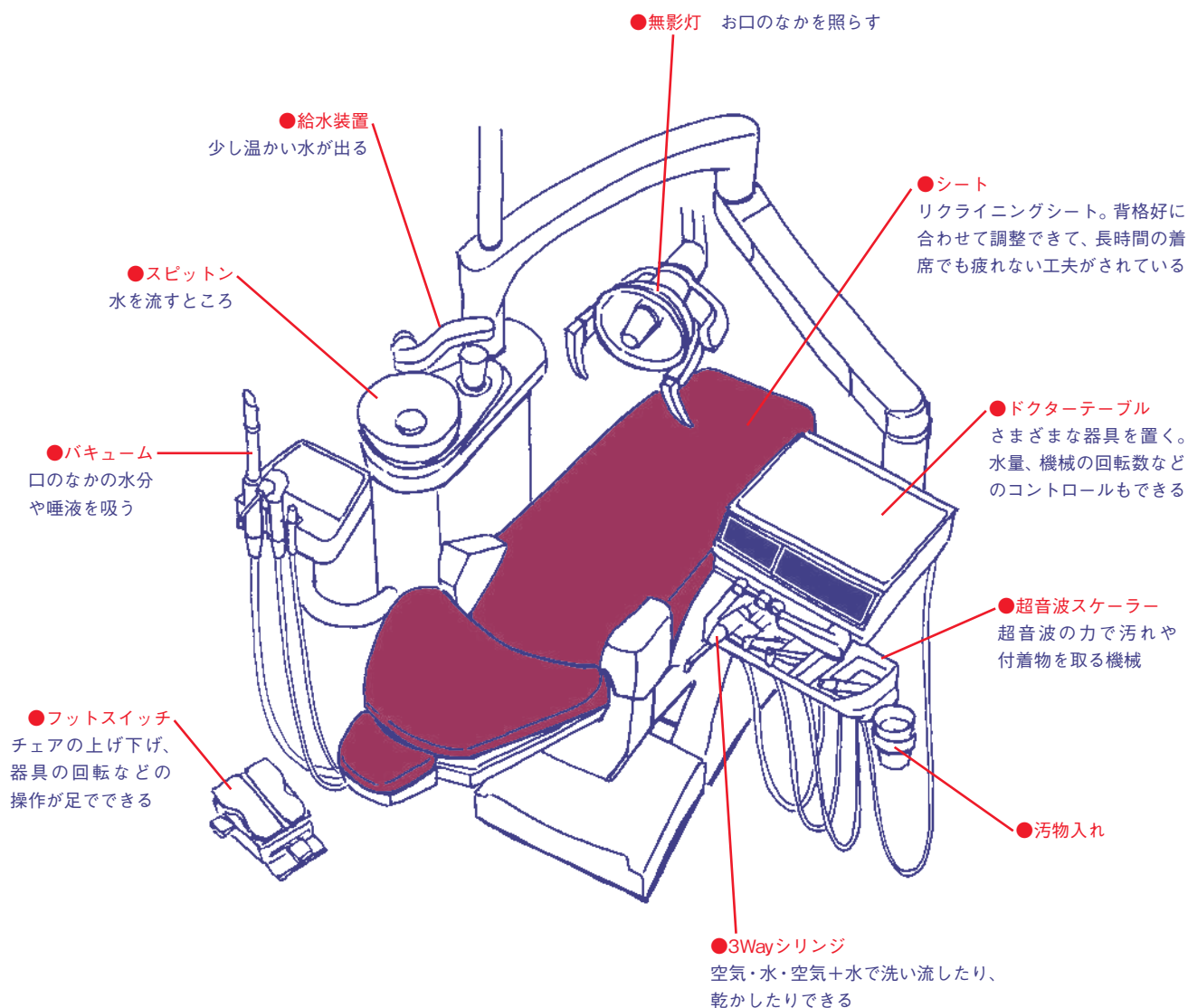
# 歯科医院のなかは、どうなっているの？



## 歯と口の健康を守る、 さまざまな設備があります

患者さんが歯科医院に来ると、待合室で名前を呼ばれ、治療用のイスに通されます。そのころには緊張していたり、あるいは歯が痛かったりして、そのイス(「ユニット」と呼んでいます)が何なのか、どんな機械が付いているのか、観察する余裕はないかもしれません(治療中は顔を隠されたりもします)。ここではユニットには何が付いているのか、見てみましょう。

### ユニットチェア解剖図



# そもそも、いつ歯科医院に行けばいい？



## お口のことで困ったら来院してください

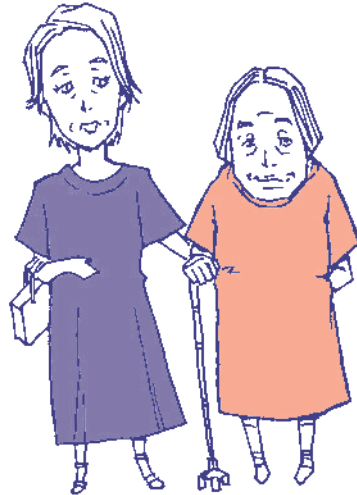
歯科医院に来るのは「歯が痛い！」という場合以外にもあります。せっかくだから、自分の通っている歯科医院を、あるいはご近所の歯科医院を、有効活用してみてください。

### ●痛くなったとき・思い出したとき



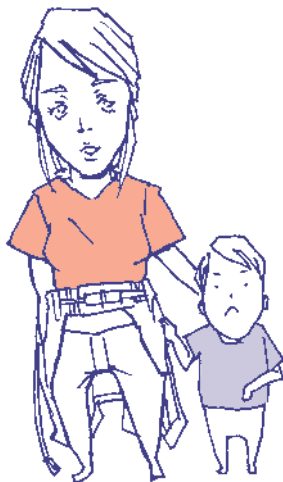
とにかくこれ！ あとは以前、治療途中で通うのを止めてしまったが、痛くなったからまた来る人も少なくありません

### ●定期健診・メンテナンス



歯は一生使うもの。定期的なチェックやケアで、一生健康なお口で過ごしたいですね

### ●子どもが歯科健診で指摘され



子どもの歯磨き中、気になることがあった。1歳半健診、3歳健診、学校健診で指摘されたことがあった、など

### ●セカンドオピニオンで



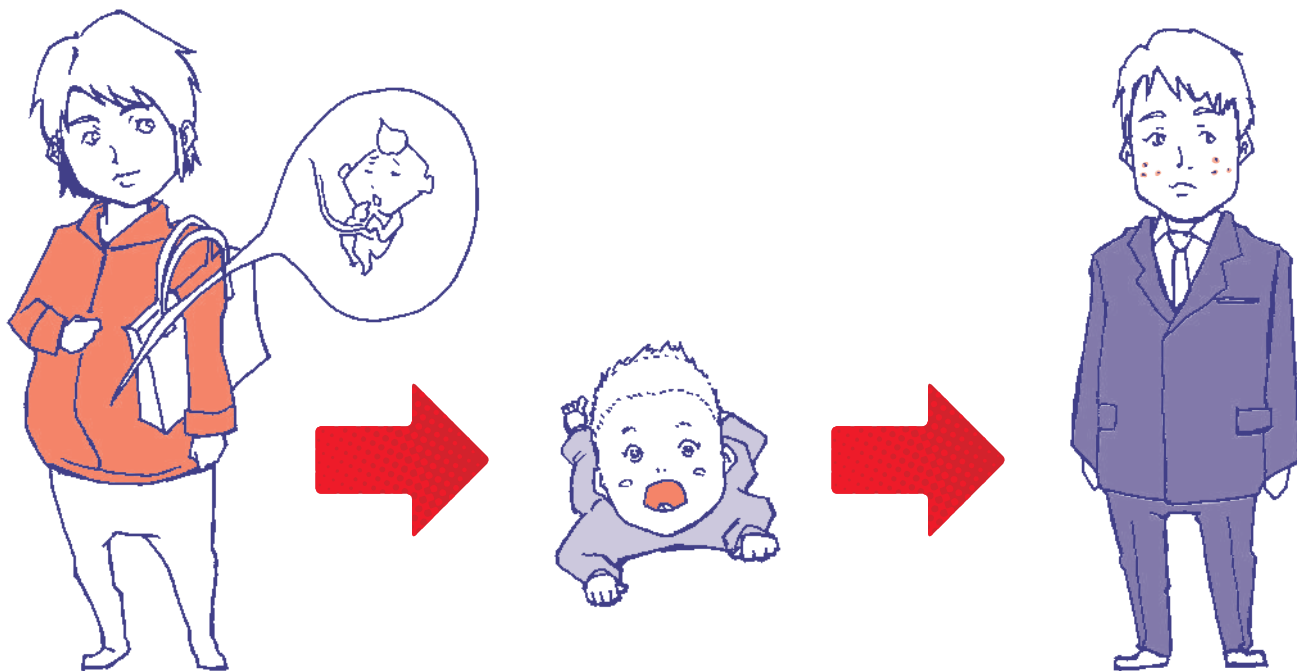
抜歯や自由診療、インプラント治療など費用や時間のかかる治療を考えている方が、他の医院にその治療の意見を聞くことをセカンドオピニオンといいます

## いつから歯科医院に通うとよい？

A  
n s w e r

口のなかの健全な成長を考えると、早い段階から  
歯科医院に通うことをおすすめします！

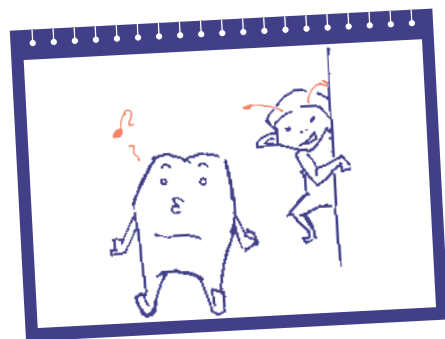
子どもの成長を考えれば、妊娠中から歯科医院に通うことをおすすめします。



歯周病にかかると早産の危険性が増すともいわれていたり、妊娠中もしっかりとお口のコントロールをすることが大切です。さらに乳歯の素はお腹のなかで作られますので、この時期も歯の成長にとっては大切です。ご自身の歯に対するモチベーションはそのまま出産後のお子さんに伝わります。歯に関する正しい知識とモチベーションによってお口のトラブル知らずのお子さんにすることも可能です。

### 乳歯の特徴

乳歯はまさに子どものように丸っこくて、乳白色で、弱々しくて小さいです。しっかり、守りたいですね。「どうせ抜けるからいい」なんて、決して思ってはイケません。乳歯は永久歯が生えるための道しるべです。



# ホワイトニングって、どういうことなの？



## ホワイトニングは薬剤で色素を分解して歯を白く見せます

歯の表面のエナメル質は六角柱の集まりです。特に柱と柱の間にはたくさんの色素ちゃんがいるので、光にあたったホワイトニングさんが近づくと、色素ちゃんたちはバラバラになっていきます。すると、歯が白く見えるのです。



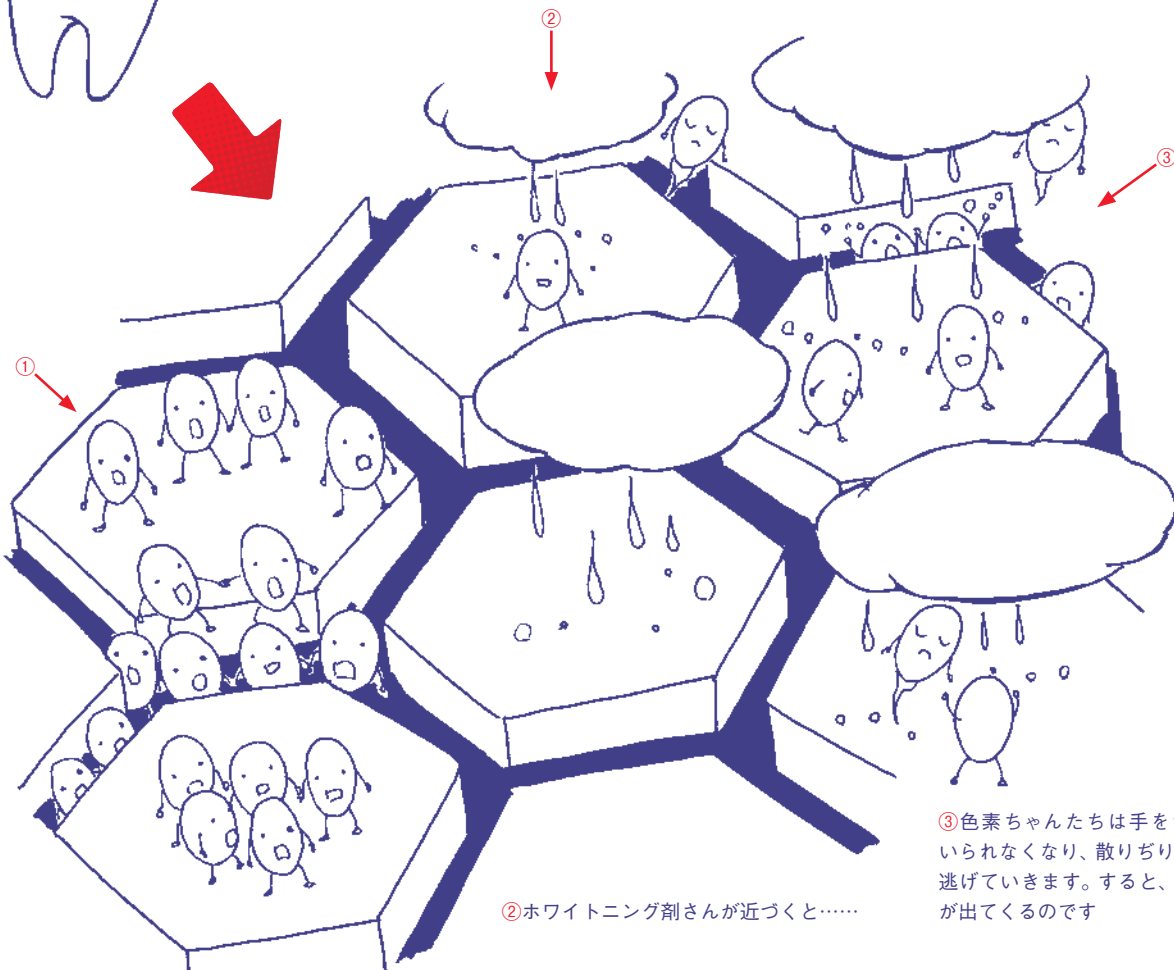
● 歯を拡大すると……



色素ちゃん



ホワイトニング剤さん  
光に当たると元気が出ます



①色素ちゃんたちは歯の表面にいっぱいいます  
(仲良く手をつないでいるので、歯に色が付いて見えます)

②ホワイトニング剤さんが近づくと……

③色素ちゃんたちは手をつないで  
いられなくなり、散りぢりになって  
逃げていきます。すると、歯の白さ  
が出てくるのです

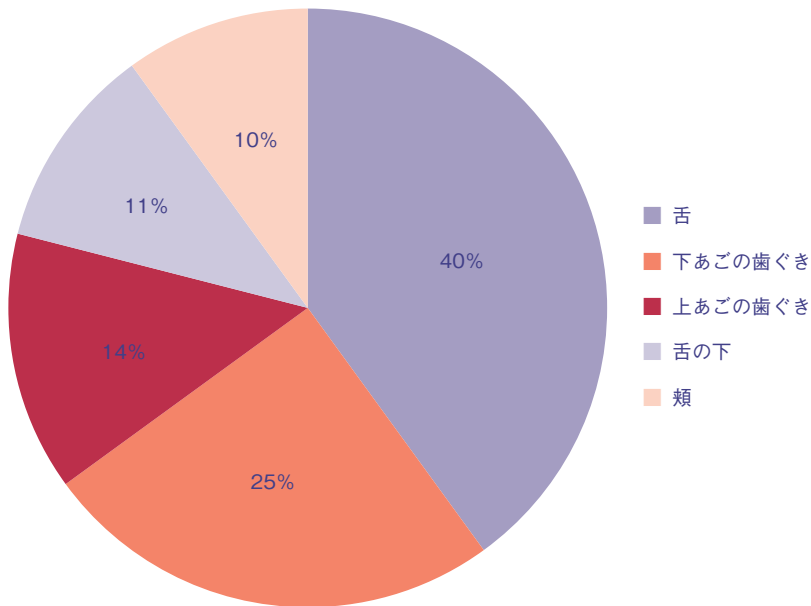
# 口にもがんはできるの？



## 舌や歯ぐきなどに がんが発生することはあります

口のなかだろうと、身体の他の部位だろうと、がんができるというのは心身ともに大変なことになるでしょう。まずは、基本的な情報を知って、今後の予防に心がけましょう。

### ●口のなかのがんの発生部位



全体の40%を占めるのは舌がんですが、さらにその80%は舌の横の部位にがんが発生します

### ●口のなかのがんの平均年齢

●男性の平均発症年齢は約60歳

●女性の平均発症年齢は約65歳



●男性の発症数は女性より1.5倍多い

